

第4章 子ども読書活動推進のための施策

基本目標 I 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

1 家庭における読書活動の推進

(1) 乳幼児期からの家庭での読書活動の支援

多くの家庭で、乳幼児期からの読み聞かせが行われるよう、ブックスタート事業を始め、赤ちゃんのためのおはなし会、すくすく読み聞かせ会等、発達段階に応じた読み聞かせ事業を実施するとともに、年齢に応じた絵本リストを紹介し、保護者への啓発を進め、家庭での読書活動を支援します。

(2) 家読（うちどく）※⁸事業の啓発・推進【新規】

年齢に応じた本や家族全員で読める本、家庭での読書習慣を設ける方法等の情報を提供し、家庭での読書活動について啓発、推進します。

2 地域における読書活動の推進

(3) 児童館・公民館等における読書活動の推進

児童館や公民館等において読み聞かせ等の機会を提供します。

(4) 放課後児童クラブ等における読書活動の推進

小学生が放課後等を過ごす施設に市図書館の団体貸出について周知し、読書活動を推進します。

(5) ボランティアの活動支援

児童館や公民館等において読書活動事業に関係する機関やボランティアと協働、連携して読み聞かせ事業を実施し、図書館資料の貸出や情報の共有を図り、活動を支援します。

3 学校等における読書活動の推進

(6) 幼稚園・保育園等での読書機会の提供・充実

幼稚園や保育園等において読み聞かせ等の機会を提供します。園の図書コーナーを充実するため、市図書館が各園を巡回して、絵本等を配本し、本に親しみやすい読書環境の整備に努めます。

(7) 学校での読書機会の提供・充実

読み聞かせやブックトーク※9、こどもの読書週間等での催事など、子どもが読書に興味を持つ機会を提供し、自主的な読書や学習の充実に努めます。

(8) 一斉読書を利用した読書習慣の確立と読書時間の確保

学校での「朝読書」の取組など、子どもが本に親しみ、読書習慣を形成していくための読書活動を推進します。

(9) 授業等での読書の活用

総合的な学習の時間や調べ学習、発展読書※10など、子どもの自主的、自発的な学習を推進し、学校図書館の利用を促進します。

4 市図書館における読書活動の推進

(10) 発達段階に応じた情報の提供や展示等の実施

各年代に沿った推薦本を紹介するブックリストや、じどうしつだより、児童室だより、TC通信など年代別のチラシの発行、市図書館ホームページを活用した推薦図書リストやイベント情報の掲示など、さまざまな図書館関係情報を提供し、子どもに図書館を身近に感じてもらえるよう取り組みます。

(11) 子どもが読書の楽しみに触れる機会の提供

子どもが関心を持つテーマに合わせた図書の紹介展示、テーマや年齢に合わせて選書した図書の提供(本の福袋)、こどもの読書週間等に合わせた各種イベント、子ども司書養成講座の実施など、読書の楽しみに触れる機会を提供し、子どもの読書に対する関心を高めます。

(12) 読書活動への奨励

読書の楽しさを知るきっかけづくりとして、小学生を対象に読書手帳を配付し、自分の読書履歴を「見える化」できるようにすることで、読書意欲を高めます。また、読書感想文コンクール、読書感想画コンクールを実施し、優れた作品を表彰します。

(13) 中学生・高校生等への学習機会の提供【新規】

中学生や高校生を重点に、読書活動につながる講座等を実施し、本や読書について興味を喚起する学習機会を提供します。

(14) ボランティア等の学習機会の提供

教職員、保育士、ボランティア等を対象に、読み聞かせの技術や知識を高めるため、スキルアップ研修を実施します。

※8 子どもを中心に家族で同じ本を読んだり、読んだ本の感想などを話し合ったりすることで、コミュニケーションを深めることを目的とした読書運動

※9 一定のテーマを決めて、何冊かの本の内容について工夫を凝らして紹介し、本の面白さを伝え読書意欲を起こさせる活動

※10 国語等の授業で取り扱った作品や作者に関連する別の本を紹介し、学校図書館を活用して読書活動を行うこと

(15) ボランティアの活動支援・育成

ボランティア団体等の活動を市図書館ホームページ等で紹介することで活動の活性化を図り、活動を支援します。また、ボランティア養成講座を実施し、市図書館や公民館等で活動するボランティアを育成します。

(16) ボランティア等との協働・連携

ボランティア団体等と協働し市図書館事業を実施します。また、市図書館の運営や事業等について意見交換し、ボランティアとの連携を図ります。

(17) 中学生・高校生の意見聴取

読書に対する関心を高め、市図書館の利用促進を図るために、さまざまな場をとらえて、中学生や高校生の意見を聞く機会を設けます。

目指す目標値

| 項目 | 内 訳 | 現 状 値 | | 目 標 値 |
|--------------|-----|----------|-------|-------|
| | | 5 月 | 9 月 | |
| 不 読 率 | | 令和2年度 | | 令和7年度 |
| | | 5 月 | 9 月 | |
| | 小学生 | 12.3% | 11.3% | 3.0% |
| | 中学生 | 3.9% | 3.9% | 3.0% |
| | 高校生 | 45.4% | 67.7% | 40.0% |
| 児童書及び絵本の貸出冊数 | | 令和元年度 | | 令和7年度 |
| | | 574,493冊 | | |

基本目標Ⅱ 市図書館などの読書環境の整備・充実

5 市図書館・図書室の整備・充実

(18) 市図書館・図書室の資料の充実

地域性や利用者ニーズ等を考慮した上で、子どもの年齢に応じた図書を収集し、図書館資料の充実を図ります。



(19) レファレンスサービス※11の充実

子どもが気軽に相談や学習ができるように、レファレンスサービスの充実を図り、適切な情報を収集し提供します。

(20) ホームページの充実

誰もが見やすく分かりやすいホームページを作成し、図書館のイベント情報や新着本の紹介などの情報を提供します。

(21) ティーンズコーナーの充実

中学生や高校生の利用促進を図るため、TC通信を発行するとともに、中学生や高校生の意見を取り入れながら、ティーンズコーナーの充実を図ります。

(22) 障がいのある子どもへのサービスの充実

録音図書、点字図書、大活字図書、LLブック※12等の整備に努め、読書に障がいのある子どもの読書活動を支援します。

(23) 外国語資料等の収集と情報提供

子ども向けの外国語資料を収集するとともに、やさしい日本語による情報を提供します。

(24) 子どもや子育て世代向けのコーナーの充実【新規】

子どもや子育て世代向けに、世代を超えて親しまれている名作絵本等「読み継がれる絵本」を紹介し、子どもやその保護者が読書に親しむ機会の充実を図ります。

(25) 読み聞かせ動画の配信【新規】

市に伝わるお話等の読み聞かせ動画を配信し、郷土への興味や関心を高めるとともに、インターネットを活用した本に親しむ機会を提供します。

(26) 電子書籍についての調査研究【新規】

新たな図書館のあり方として、電子書籍導入の有効性等について調査研究します。

6 学校図書館の整備・充実

(27) 読書を楽しめる学校図書館の環境づくり

子どもが自由な雰囲気を読書を楽しめるよう、学校図書館ボランティアと連携して、学校図書館の館内掲示や、児童生徒が興味を持つことができる展示を工夫するなど、魅力ある学校図書館の環境づくりに努めます。

※11 利用者が必要とする情報、資料などの求めに応じて、情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索、提供、回答したり、需要の多い質問に対してあらかじめ、書誌、索引などの必要な資料を準備、作成したりする業務

※12 LLとは、スウェーデン語の Lättläst の略で、「やさしく読みやすい」を意味する。知的障害、学習障害のある人や外国人が読みやすいよう、やさしい言葉や絵、写真などを使って分かりやすく書かれた本

(28) 計画的な図書整備

学校図書館図書標準の充足を図るとともに、子どもが求める学校図書館資料の整備を進めます。

7 家庭・地域・学校等相互及び市図書館等の連携

(29) 家庭・地域と学校図書館の連携

学校図書館の館内掲示や図書の紹介展示の工夫、読み聞かせなど、学校図書館ボランティアと連携して、子どもが読書に興味を持つ機会の提供や、「学校図書館だより」での推薦図書等の情報の提供に努めます。

(30) 市図書館と学校等の連携

資料の収集や提供、読書活動に関する情報交換や、調べ学習のための図書館所蔵資料の貸出等、学校等の読書活動を支援します。

(31) 市図書館と図書室の連携

定期的に高蔵寺まなびと交流センター図書館や公民館等の図書室と利用方法などの情報交換を行い、サービスの向上を図ります。

(32) 他公立図書館等との連携

他公立図書館、大学図書館との情報交換や図書等の相互貸借等をとおして、読書活動を推進します。

目指す目標値

| 項 目 | 現 状 値 令和元年度 | 目 標 値 令和7年度 |
|-------------------------|----------------|----------------|
| 読み継がれる絵本コーナー 図書資料貸出数 | 0冊 | 2,400冊 |
| 調べ学習に関する支援 | 14件 | 20件 |